

令和5年度幕別町百年記念ホール企画展

浩而魅諭 **鼓動**

～北海道新聞連載『となりのイノチ』原画展～

令和5年 **6月1日(木)～11日(日)** ※6日(火)は休館

幕別町百年記念ホール (幕別町千住 180-1) 午前9時～午後10時 **鑑賞無料**

主催：NPO法人 まくべつ町民芸術劇場 協力：幕別町教育委員会

北海道新聞で平成28年3月から3年間強連載された「となりのイノチ」。
私達の身近にいる生き物をボールペンによる繊細なタッチで描いた浩而魅諭さんの作品は、時に可愛らしさやユーモアを交えつつも、臨場感と躍動感にあふれる姿が見るものの魂を揺さぶり大きな話題を呼びました。今回はその原画のほぼ全てに浩而さんの代表作数点を加えた63作品を展示します。
また、浩而さんの講演会も開催します。

関連事業

講演会「いきものたちが教えてくれること」

講師：浩而魅諭 さん

6月4日(日) 10:30～11:30

定員：100名 ※先着順

5月15日(月)から窓口、TEL、WEBで
聴講申込を受け付けます。

浩而魅諭 (ひろじみゆ) さん

略歴：札幌出身、在住。北海道教育大学札幌校美術科卒。

アトリエ・絵画教室「工房盤嶽」代表。

星槎道都大学美術学部兼任講師。

受賞：道展、アクリル水彩画展、中札内ビエンナーレ、
サムホール美術展など多数

作品名「懐」